

とくてん

じゅけんばんごう	なまえ

すいさんかこうしょくひんせいぞうぎょう  
ぎのうひょうかしけん

かねつせいすいさんかこうしょくひん  
せいぞうぎょう

ちょうみかこうひんせいぞう

せんもんきゅう

がっかしけん

## 【きょうつう もんだい】

つぎのぶんしょうについて、ないようがただしいとおもうものには○のらん  
に✓(ちえっく)を、まちがいとおもうものには×のらん  
に✓(ちえっく)をかきなさい。

1. すいさんかこうじょうでは、げんりょうからせいひんまで  
えいせいかんりをおこなうことがたいせつである。

○	×
✓	

2. すいさんかこうじょうでは、かんたんなさぎょうのときは、  
さぎょういをきなくてもよい。

○	×
	✓

3. げんりょうぎょかいそうるいのしよりは、ていおんと  
たんじかんでえいせいてきにおこなう。

○	×
✓	

4. いわしは、あかみのさかなである。

○	×
✓	

5. かいそうは、かこうげんりょうにならない。

○	×
	✓

6. あかみのさかなは、しろみのさかなにくらべて、きんにく  
ぜんたいにしめるちあいにくのわりあいがすくない。

○	×
	✓

【きょうつう もんだい】

7. ぶたにくにすくなく、ぎょにくにおおいえいようせいぶんがある。

○	×
✓	

8. さかなのしゅるいによってせんどがわるくなるはやさがちがう。

○	×
✓	

9. せんどていかしたさかなをこおりにつければせんどがよくなる。

○	×
	✓

10. さかなのにくはすいぶんがおおくやわらかいのでくさりにくい。

○	×
	✓

11. じこしょうかこうそは、きんにくやないぞうにふくまれている。

○	×
✓	

12. みじかいじかんですばやくとうけつすることを、きゅうそくとうけつという。

○	×
✓	

13. さかなをとうけつしてからほかんすることをちるとちよぞうという。

○	×
	✓

【きょうつう もんだい】

14. ぎょかいそうるいは、ていおんちょぞうやだっすい、  
かねつしよりをする とほぞんせいがわるくなる。

○	×
	✓

15. しょくひんにしおをいれるとすいぶんかっせいがたかくなり、  
ほぞんせいがわるくなる。

○	×
	✓

16. すいさんかこうしょくひんのひんしつがわるくなるげんいん  
には、おんどやさんそなどのかんきょうとしょくひんの  
すいぶんかっせいなどがある。

○	×
✓	

17. すいさんかこうしょくひんに、みそやししょうゆをつかった  
せいひんはない。

○	×
	✓

18. ぎょにくはかんそうすると、すいぶんかっせいがていかして、  
ほぞんせいがよくなる。

○	×
✓	

19. さかなのあたまをきりとり、ひらきにするきかいを、  
ぎょたいしよりきという。

○	×
✓	

20. すいさんかこうしょくひんは、ほうそうきをつかうことが  
できない。

○	×
	✓

## 【ちょうみかこうひん せいぞう】

つぎのぶんしょうについて、ないようがただしいとおもうものには○のらん  
に✓(ちえっく)を、まちがいとおもうものには×のらん  
に✓(ちえっく)をかきなさい。

1. ちょうみかこうひんには、あじがついていない。

○	×
	✓

2. ちょうみかこうひんのほぞんせいにはすいぶんかっせいが  
かんけいする。

○	×
✓	

3. つくだには、いりつけにやうかしにでつくられる。

○	×
✓	

4. つくだにのちょうみえきは、しょうゆ、しお、さとう、  
みずあめなどをまぜてつくる。

○	×
✓	

5. つくだにはげんりょうをちょうみえきでにるじかんが  
みじかいほうがよい。

○	×
	✓

6. まぐろのようなおおきなさかなは、つくだにのげんりょう  
にはならない。

○	×
	✓

【ちょうみかこうひん せいぞう】

7. うなぎのかばやきは、れいとうしたげんりょうだけでつくる。

○	×
	✓

8. あさりのつくだには、からをとったげんりょうをうかしにでつくる。

○	×
✓	

9. あじつけのりは、やいたのりにちょうみえきをつけかんそうする。

○	×
✓	

10. さきいかは、ほそくきったいかをちょうみえきでにる。

○	×
	✓